



地球を視野に

国 際 協 力

分 野 で

働 こう !

グローバル
人材育成
セミナー

- 開催日時 : 2017年9月2日(土) 13:00~16:40
- 会 場 : 名古屋国際センター 別棟ホール
- 主 催 : 国際連合地域開発センター (UNCRD)
外務省国際機関人事センター
公益財団法人名古屋国際センター (NIC)

本事業の趣旨

世界の人口は今、73 億人。

そのうち、読み書きのできない人の数は？—約 7 億 8 千万人。安全な飲み水を使用できない人の数は？—約 21 億人。5 歳未満で命を落とす子どもは、約5. 3秒に 1 人…。

日本に暮らす私たちには、想像もできない現実が世界では起こっているのです。貧困、飢餓、難民、紛争、環境問題…地球の課題は山積みです。

みなさんは、SDGs という言葉を聞いたことがありますか？ SDGs (持続可能な開発目標 = Sustainable Development Goals)とは、2030 年までに、開発途上国も先進国もみんなが協力して達成をめざす、世界を変えるための 17 の目標です。そして、実は、その具体的な取り組みは、消費や、働き方など、私たちの生活に大きく関わっています。つまり、このような地球規模の大きな問題は、私たちの暮らしに直結しているのです。世界を変えるには、まず私たち一人ひとりが問題を身近に感じ、「自分ごと」として向き合い、解決に向けて実際に行動できる人材が求められています。

今日のセミナーでは、日々、世界の課題と向き合う国際協力分野の方々から、あなたの将来を描くためのヒントをたくさん学んでください。

さあ、地球の未来のために一歩を踏み出そう！

国連地域開発センター(UNCRD)
外務省国際機関人事センター
(公財)名古屋国際センター(NIC)



セミナー

- 13:00～13:10 ご挨拶
来賓挨拶：独立行政法人国際協力機構 理事 入柿 秀俊 氏
主催者挨拶：公益財団法人名古屋国際センター 交流協力課長 丹下 厚史
- 13:10～13:30 「国際協力の分野で働くということ」 (株)国際開発ジャーナル社 (IDJ)
- 13:30～14:30 「初めの一步を踏み出そう！」
・ NGO の活動に参加してみよう 名古屋 NGO センター
・ 青年海外協力隊で活躍してみよう (独)国際協力機構 (JICA)
・ 在外公館で派遣員/専門調査員として働こう (一社)国際交流サービス協会 (IHCSA)
- 14:30～15:15 「政府開発援助 (ODA) で活躍しよう！」
・ JICA 職員として働く (独)国際協力機構 (JICA)
・ 開発コンサルタントとして働く (一社)海外コンサルタンツ協会 (ECFA)
- 《休憩》
- 15:25～16:00 「国際公務員として働こう！」
外務省国際機関人事センター,国際連合地域開発センター (UNCRD)
- 16:00～16:10 国際協力キャリア総合情報サイト「JICA・PARTNER」の活用方法
(独)国際協力機構 (JICA)
- 16:10～16:30 質疑応答

個別ガイダンス

※13:30～16:00 に同時開催！



- ①国際連合地域開発センター【UNCRD】
- ②外務省国際機関人事センター
- ③(公財)名古屋国際センター【NIC】
- ④(株)国際開発ジャーナル社【IDJ】
- ⑤名古屋 NGO センター
- ⑥(独)国際協力機構【JICA】
- ⑦(一社)国際交流サービス協会【IHCSA】
- ⑧(一社)海外コンサルタンツ協会【ECFA】



①国際連合地域開発センター【UNCRD】



UNCRD は地域開発を基に持続可能な開発を進める国連機関で、国連と日本政府との協定により 1971 年に名古屋市に設立されました。名古屋市に設立されたのは、1968 年に名古屋で発足した UNCRD の前身の機関が目すべき成果をあげていたこと、そして何よりも、日本の急速な経済成長とその背景となる様々な地域開発計画が名古屋を中心にした中部圏で実施されていて、開発途上国からの研修生が日本の経済発展の経験を学ぶ上で最適の場所であると大きな期待が寄せられたからです。現在は「持続可能な地域開発」という概念の具体化を目指して、「統合的地域・都市開発計画」、「環境」、「防災」という視点から、開発途上国を対象に地域開発計画の策定と計画実施能力の強化を目的とした事業を行っています。

②外務省国際機関人事センター



外務省 国際機関人事センターは、国連など国際機関へ就職することを希望する日本人を対象に様々な有益情報を発信し、また、実際に優秀な若手日本人を原則 2 年間、国際機関に派遣し、経験を積ませる「ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）派遣制度」を実施している外務省の一部署です。

国際機関の採用制度は、日本のそれとは大変かけ離れています。日本人で国際機関を目指す方は、国際機関の採用制度について基礎的な事項を押さえておく必要があります、それを知らないと、どれだけ専門知識や外国語の能力があろうとも国際機関への就職を実現することができません。是非、外務省 国際機関人事センターの説明を聞きに来てください！

③公益財団法人名古屋国際センター【NIC】



当センターは、多文化共生社会形成の促進、市民の地球市民意識の醸成を図り、国籍・人種を問わず、誰もが共に豊かに安心して暮らせる社会の実現を目指しています。その担い手として、社会の課題を「自分ごと」と捉え、グローバルな視野で行動できる若者を育成する「NIC Global Youth プロジェクト」をスタートさせました。

今回のセミナーは、広く多くの若者にご参加いただき、将来を描くヒントを得る機会として開催します。また今後、さらにグローバル人材に必要な能力を身につけるための「研修」、そして実践者を表彰し応援する「NIC Global Youth Award」というステップで、グローバルに活躍する若者を応援します。

<p>④ （株）国際開発ジャーナル社 【IDJ】</p> 	<p>今年、創刊 50 年を迎える『月刊・国際開発ジャーナル』にて、国際問題や開発協力の動向を多角的に報道しつづけています。また、世界で活躍を目指す若手人材のキャリア形成をサポートする『国際協力キャリアガイド』も 20 年にわたり発行しています。国際協力業界の“情報のハブ”としての使命を担う専門出版社です。</p>
<p>⑤ 名古屋 NGO センター</p> 	<p>貧困・紛争・環境破壊などの地球規模の課題を解決するために、NGO の支援をしています。 支援をとおして、人権、平和、環境が守られる社会の創造をめざしています。各 NGO への支援を通じた、NGO ネットワークの促進、コンサルティング、情報発信、政策提言、国際理解教育、人材育成などの活動を行っています。</p>
<p>⑥ （独）国際協力機構 【JICA】</p> 	<p>独立行政法人国際協力機構（JICA／ジャイカ）は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。多様な援助手法のうち最適な手法を使い、地域別・国別アプローチと課題別アプローチを組み合わせ、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。</p>
<p>⑦ （一社）国際交流サービス協会 【IHCSA】</p> 	<p>日本政府が行う海外からの招聘プログラムや国際会議などの国際交流活動に積極的に貢献することによって、政府の施策に応じた広い国際相互理解と相互親善に寄与することを目的とした公益法人です。</p>
<p>⑧ （一社）海外コンサルタンツ協会 【ECFA】</p> 	<p>我が国開発コンサルティング企業等の海外事業活動の振興、品位の確立、質の向上、内外関係機関との交流及び協力、海外コンサルティングに関する調査研究等を行うことにより、コンサルティング産業の健全な発展を図り、もって国際経済の発展及び国際協力の促進に寄与することを目的として活動しています。</p>

順不同

MEMO